

## 「2020年度トップスポーツ組織の地域振興活動に関する調査」結果を発表

(公財)ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、トップスポーツに関する2020年度の調査研究結果をまとめた報告書をこの度、当財団ウェブサイトにて公開しました。

本報告では、トップスポーツチームが活動拠点(ホームタウン等)を有する自治体に対し、トップスポーツチームに対する意識や、スポーツ組織の取り組み(社会連携活動)について、200市区町から回答いただいた結果を報告書にまとめております。

<https://www.ymfs.jp/project/culture/survey/015-topsports/>



### ■報告書タイトル

## 『2020年度トップスポーツ組織の地域振興活動に関する調査』

—自治体(200市区町)からみたトップスポーツチームの社会連携活動—

### ■報告書の概要(全3章で構成)

#### 【第1章】 自治体とトップスポーツ組織との連携

トップスポーツ組織(チーム等)がある自治体を対象に、「自治体とトップスポーツ組織(チーム等)との連携」(スポーツ振興計画、ベンチマーク、スポーツツーリズムなど)の状況について報告。

#### 【第2章】 自治体から見た、チームの地域活動に関する意識

トップスポーツ組織(チーム等)が地域(ホームタウン)で実施する各種の地域活動について、それぞれに対する意識を①満足度、②重視度、③今後の期待に分けて調査、分析。

#### 【第3章】 自治体の意識とトップスポーツ組織の特徴・活動との関連性

第1章および第2章でみてきた調査データと、2018年度に当財団で実施した、トップスポーツ組織(チーム等)が地域(ホームタウン)で実施する地域活動についての調査データとを突き合わせて分析した結果を報告。

### 【調査責任者コメント】 岡本純也 (一橋大学大学院 経営管理研究科 准教授)

本報告書は、トップスポーツ組織の拠点となる全国の自治体の協力により、スポーツ組織が行う「社会連携活動」を自治体側がどのように受け止めているのかについて調査した結果をまとめたものである。スポーツ種目間を横断的に捉えるだけでなく、プロ・アマなどの運営形態を横断的に同一指標で測ろうとするとともに本調査の特徴はある。本調査に協力していただいた自治体にとっては、本報告書を参照していただくことによって自らの現状が全体の構図の中のどこに位置付くのかを知ることができるであろう。それは、今後、スポーツ組織との連携によって地域活性化をしようとする自治体にとっても同様である。未来のスポーツ政策、地域活性化策の策定に活用していただければ幸いである。

この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当:大庭)

## 【参考資料】 ※報告書の主なトピックス(文章中は敬称略)

### ■第1章 自治体とトップスポーツ組織との連携

- 自治体とトップスポーツ組織間において、約半分(48.7%)の自治体がスポーツの活用・連携などを含めたスポーツ振興計画(ビジョンなど)が「ある」と回答した。
- 自治体とトップスポーツ組織との関りにおいて、具体的な目標について、【定量目標】は16.2%、【定性目標】は21.3%、が「ある」と回答した。
- トップスポーツ組織の資源(選手・施設・商標など)の活用による地域活性化について、参考としている自治体やチームがあるのは共に約10%程度であった。  
【参考としている自治体】が「ある」:11.2%、【参考としているチーム】が「ある」:10.1%
- 貴自治体での「スポーツツーリズム」に関する取り組みについて、約1/3(34.5%)の自治体が「はい(実施している)」と回答。多かった取り組みは、  
【スポーツ大会・イベントの開催】:23.0%、【スポーツ合宿・受け入れ】:21.0%

### ■第2章 自治体から見た、チームの地域活動に関する意識

- トップスポーツ組織が地域で実施する主な地域活動(5項目)について。  
認知について、「チームが取り組む種目の貴自治体での活用」が最も高く(87.2%)、  
続いて「チームから貴自治体への人的・物的支援」76.8%と続き、5項目共に高い認知状況にあった。
- トップスポーツ組織が地域で実施する具体的な地域活動(24活動)について。  
「地元の小学校や中学校への訪問活動」、「地元の祭り・イベントへの出展参加」が、満足度、重視度、期待度共に、他の活動よりも高い傾向となった。

### ■第3章 自治体の意識とトップスポーツ組織の特徴・活動との関連性

- 主な地域活動(5項目)に関して、重視度・期待度と満足度との関係について。  
「チームが取り組む種目の貴自治体での活用」、「チームから貴自治体への人的・物的支援」が  
『高重視×高満足』『高期待×高満足』に該当した。
- 詳細な地域活動(24項目)に関して、重視度・期待度と満足度との関係について。  
「地元の小学校や中学校への訪問活動」、「県庁、市役所、区役所への訪問」、「いじめ防止等社会啓発活動、キャンペーンへの協力、投票・納税の呼びかけ」、「地元の祭り・イベントへの出展・参加」など多くの項目は『高重視×高満足』『高期待×高満足』となった。